

# リサイクル資源

## 輸出入適正化を

### 不法処理を問題視

日本鋳業協会の西田計治会長（三井金属社長）は、21日の定例記者会見で国内リサイクル資源の海外流出問題に触れ、向け先で不法な処理が行われる場合、「何らかの規制・制約をすべきではないか」と見解を述べた。来月8日予定の鋳業政策促進懇談会（鋳促懇）では、最重点項目の一つに「バーゼル法に基づくりサイクル資源輸出入制度の適正化」を盛り込む構えを、あらかじめ強調した。



西田会長

### 鋳業協会 西田会長が会見

西田会長は韓国で先及、韓国は世界最大の月発覚した、鉛二次精 鉛リサイクル原料輸入 錬会社の一斉摘発に言 国で、日本からは20 12年以降、年7万10万トの廃バッテリー（使用済み自動車用鉛

蓄電池）が韓国へ輸出されている。この廃バッテリーを原料とする鉛二次精錬会社が、精錬廃棄物を違法に埋め立てていた。鋳業政策関連の要望活動を行う鋳促懇では今夏、資源確保のための支援策の強化「電力問題への対応」「バーゼル法に基づくりサイクル

ル資源輸出入制度の適正化」の3点を最重点項目に掲げる。特に3点目では、バーゼル法の手続き簡素化などに

**スクラップ 亜鉛 現金買入**  
 カークサイト(金型)・丹入コロ・ダライ粉・その他  
 各種亜鉛再生塊製造販売

**株式会社 市川金属**  
 METAL

本社 岐阜県各務原市鵜沼朝日町1-33 TEL.058(370)4655(代)  
 東京営業所 神奈川県厚木市金田391-1 TEL.046(294)3700(代)

よる輸入の円滑化、国内資源の海外流出防止を訴えていく。同席の清水隆理事も

固定価格買い取り制度)賦課金減免措置の維持・拡大を、今期特に打ち出す。

「資源確保のための支援策の強化」では、石油天然ガス・金属鉱物資源機構や国際協力銀行が提供する、海外資源開発向けの債務保証制度、資産買収出資制度の柔軟な運用・拡充、グリーンフィールド探鉱の推進などを求めていく。電力問題への対応」では、FIT(再生可能エネルギー

廃バッテリー流出問題に触れ、向け先で適正に処理されるべき」と、韓国の過度の高値買いをけん制。日本の製精錬所の原料調達難は、事業存続の危機につながりかねず、中間物を互いにやり取りする「銅、亜鉛の製錬所も困る」と話した。